

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.71

調査者	板垣 篤典、齊藤 正和
情報ソースの刊行日	2020年12月16日
情報ソースの調査日	2021年2月18日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年2月20日
日本語タイトル	心臓リハビリテーションに関する基本方針:対面式と遠隔医療の提供方法の選択肢
情報ソース	Position Statement on Cardiac Rehabilitation: Face-to-face and telehealth delivery options
情報のカテゴリー	包括的心リハ
発信地域	オセアニア(オーストラリア)
URL	https://www.acra.net.au/wp-content/uploads/2021/01/Heart-Foundation_ACRA-Position-Statement-on-cardiac-rehabilitation_telehealth_2020.pdf
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリアでは、心臓リハビリテーションの益を得られる可能性がある多くの患者が心臓リハビリテーションを受けることができていない。 ・ COVID-19 のパンデミックは、遠隔医療とデジタル技術の利用を加速させた。 ・ 遠隔医療を利用した在宅での運動介入によって、このような患者が心臓リハビリテーションの恩恵を受けることができる。 ・ ただし、遠隔医療は対面での心臓リハビリテーションの代替手段とするのではなく、補完するために使用する必要がある。 ・ より多くのオーストラリア人の患者が心臓リハビリテーションの効果を享受できるようになることが望まれる。